

| | | | | | | | | | |
|--|-------------------------------------|------------|--------------------------------|--------------|-------------------------------|-----|----|------|----|
| 科目名 | 障がい者スポーツ | | | | | | 年度 | 2026 | |
| 英語科目名 | Sports for people with disabilities | | | | | | 学期 | 後期 | |
| 学科・学年 | スポーツ健康学科三年制 スポーツインストラクターコース 3年次 | 必/選 | 選 | 時間数 | 30 | 単位数 | 2 | 種別※ | 演習 |
| 担当教員 | 伊藤 | 教員の実務経験 | 有 | 実務経験の職種 | スポーツインストラクター | | | | |
| 【科目の目的】 障がいや障がい者スポーツ、安全管理等に関する基礎的な知識や障がい者に対応するための基本的な技術を取得する。また運動やスポーツの楽しさ、基本的な運動方法やその意義及び価値なども伝えることができる人材となる。 | | | | | | | | | |
| 【科目の概要】 障がい者初級指導員の資格取得に必要な知識等を学びます。 | | | | | | | | | |
| 【到達目標】 対象者の障害や体力を理解し、安全に楽しくかつ公平に行うことができるよう、障害の状況にあわせて指導することができます。またスポーツの本質を理解することにより、楽しいと感じることのできる状態、心の健康を理解することができる。性急にゲームに走らずに、じっくり基本的な運動能力を伸ばすことを心がけ、人の心を元気にさせる、やる気をおこさせるためのスポーツ指導者を目指します | | | | | | | | | |
| 【授業の注意点】 授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができません。この授業では、座学特有の教員からの発信のみならず、学生間・教員と学生のコミュニケーションの機会を設けます。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応していきます。理由のない遅刻や欠席は認めません。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求めます。 | | | | | | | | | |
| 評価基準＝ルーブリック | | | | | | | | | |
| ルーブリック 評価 | レベル5 優れている | レベル4 よい | レベル3 ふつう | レベル2 あと少し | レベル1 要努力 | | | | |
| 到達目標 A | 初級障がい者スポーツ指導員の資格について理解を深めている | | 初級障がい者スポーツ指導員の資格について理解している | | 初級障がい者スポーツ指導員の資格について知っている | | | | |
| 到達目標 B | 障がい者スポーツや安全管理に関する基礎的な知識を習熟している | | 障がい者スポーツや安全管理に関する基礎的な知識を習得している | | 障がい者スポーツや安全管理に関する基礎的な知識を知っている | | | | |
| 到達目標 C | 運動やスポーツの楽しさ、その意義及び価値について理解を深めている | | 運動やスポーツの楽しさ、その意義及び価値について理解している | | 運動やスポーツの楽しさ、その意義及び価値について知っている | | | | |
| 到達目標 D | 各障害について理解を深めている | | 各障害について理解をしている | | 各障害について知っている | | | | |
| 到達目標 E | | | | | | | | | |
| 【教科書】 適宜資料を配布します。 | | | | | | | | | |
| 【参考資料】 | | | | | | | | | |
| 【成績の評価方法・評価基準】 筆記試験やレポート、また積極的な授業参加度、授業態度によって評価します。 | | | | | | | | | |
| ※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。 | | | | | | | | | |

| 科目名 | | 障がい者スポーツ | | | 年度 | 2026 |
|------|-----------|-------------------------------------|-----------------------|-------------------------------|------|------|
| 英語表記 | | Sports for people with disabilities | | | 学期 | 後期 |
| 回数 | 授業テーマ | 各授業の目的 | 授業内容 | 到達目標＝修得するスキル | 評価方法 | 自己評価 |
| 1 | オリエンテーション | 資格について | 1 障がい者スポーツ | 障がい者スポーツについて理解している | 3 | |
| | | | 2 初級障がい者スポーツ指導員 | 障がい者スポーツ指導員初級について理解している | | |
| 2 | 思考判断① | パラスポーツの意義と理念① | 1 スポーツにおけるインテグリティの理解 | スポーツにおけるインテグリティを理解している | 3 | |
| | | | 2 指導者に求められる資質 | 指導者に求められる資質を理解している | | |
| 3 | 思考判断② | パラスポーツの意義と理念② | 1 スポーツの意義と価値 | スポーツの意義と理念を理解している | 3 | |
| | | | 2 パラスポーツの意義と理念 | パラスポーツの意義と理念を理解している | | |
| 4 | 態度行動① | コミュニケーションスキルの基礎 | 1 コミュニケーションスキルの基礎 | コミュニケーションスキルを理解している | 3 | |
| | | | 2 ソーシャルスキルの基礎 | ソーシャルスキルを理解している | | |
| 5 | 態度行動② | コミュニケーションスキルの実際 | 1 コミュニケーションスキルの実践 | 人前で話をする事ができる | 2 | |
| | | | 2 ソーシャルスキルの実践 | 相手の意見を傾聴することができる | | |
| 6 | 態度行動③ | パラスポーツ推進の取組① | 1 パラスポーツに関する諸施策 | パラスポーツに関する諸施策を理解している | 3 | |
| | | | 2 パラスポーツ推進の取組 | パラスポーツ推進の取組について理解している | | |
| 7 | 態度行動④ | パラスポーツ推進の取組② | 1 地域におけるパラスポーツ振興 | 地域におけるパラスポーツ振興について理解している | 3 | |
| | | | 2 パラスポーツ指導員としてのキャリア形成 | パラスポーツ指導員としてのキャリア形成について理解している | | |
| 8 | 共通 | 安全管理 | 1 安全管理 | 安全管理について理解している | 3 | |
| | | | 2 リスクマネジメント | リスクマネジメントについて理解している | | |
| | | | 3 救急処置法 | 救急処置法について理解している | | |
| 9 | 専門① | 各障がいの理解① | 1 身体の仕組みと体力づくり | 身体の仕組みと体力づくりについて理解している | 3 | |
| | | | 2 各障がいの理解① | 身体障がい（肢体不自由）について理解している | | |
| 10 | 専門② | 各障がいの理解② | 1 各障がいの理解② | 身体障がい（視覚障がい）について理解している | 3 | |
| | | | 2 各障がいの理解③ | 身体障がい（聴覚・音声言語障がい）について理解している | | |
| | | | 3 各障がいの理解④ | 身体障がい（内部障がい）について理解している | | |
| 11 | 専門③ | 各障がいの理解③ | 1 各障がいの理解⑤ | 知的障がいについて理解している | 3 | |
| | | | 2 各障がいの理解⑥ | 発達障がいについて理解している | | |
| 12 | 専門④ | 各障がいの理解④ | 1 各障がいの理解⑦ | 精神障がいについて理解している | 3 | |
| | | | | | | |
| 13 | 専門⑤ | パラスポーツ指導の基礎（実践①） | 1 各障がいのスポーツ指導上の留意点 | 各障がいのスポーツ指導上の留意点を理解している | 2 | |
| | | | 2 各障がいのスポーツ指導上の工夫 | 各障がいのスポーツ指導上の工夫ができている | | |
| 14 | 専門⑥ | パラスポーツ指導の基礎（実践②） | 1 各障がいのスポーツ指導上の留意点 | 各障がいのスポーツ指導上の留意点を理解している | 2 | |
| | | | 2 各障がいのスポーツ指導上の工夫 | 各障がいのスポーツ指導上の工夫ができている | | |
| 15 | 専門⑦ | 全国障がい者スポーツ大会の概要 | 1 歴史と目的・意義 | 大会の歴史と目的・意義を理解している | 3 | |
| | | | 2 実施競技と障がい区分 | 実施競技と障がい区分について理解している | | |
| | | | 3 スタッフの役割等 | スタッフの役割等について理解している | | |

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等